

紙面紹介

- 1面 23年度最賃審議スタート
  - 2面 入管法改正に反対/東京土建シンポ
  - 3面 拡大/医労連・自交総連・都障教組
  - 4面 労働会館玄関リニューアル他
- E-mail lapaz@chihyo.jp  
URL http://www.chihyo.jp

# TOKYO はたらく仲間

## 242

2023年6月15日  
(毎月15日発行)

発行 東京地方労働組合  
評議会(東京地評)

定価 1部40円(送料別)

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10  
東京労働会館

TEL 03(5395)3171  
FAX 03(5395)3240

### 最賃審議 はじまる

# 生活守り、暮らし彩る最賃1500円

実質賃金が伸び悩み、夏を前に電気料金的大幅引上げも重なり、暮らしと健康悪化が懸念されています。東京の最賃1072円、私たちが求める1500円以上には大きな隔たりがあります。東京地評は国民世論を高めその実現めざし運動を展開します。

## 最賃改定は6人に1人が直接影響

### 人たるに値する生活取りもどそう

厚生労働省が6月6日公表した4月の毎月勤労統計(速報)によると、実質賃金は前年比マイナス3.0%低下となり13カ月連続の減少となりました。6月からは電気料金が14.42%の値上げとなり、5月と比べ月906.3792円増。政府は1月から電気料金一部増が押し寄せています。

◇

日野労連が2月に行った多摩地域のショッピングモール求人募集(下図)調査では、平均時給額1110円。4社に1社が最賃額で募集しています。最賃額に28円(2.6%)広げると全体の81%(34社)を占めます。政府調査でも最低賃金改定を受けて、改定額以下となり運動して引上げざるを得ない労働者割合は、東京地域では17.4%(令和3年度)と全国的平均(16.2%)を上回り、最賃近傍(最低賃金×1.15未満)で就労する労働者は増加の一途です。



全国一律制実現と中小企業支援を求め東京地評が集約した1万2千筆を宮本議員に手渡す(矢吹議長・左)



新宿駅を周回し沿道の若者から声援も(サウンドデモでアピールする仲間)

#### イオンモール多摩平の森 テナント時給調査

時給額	社	東京最賃額
1072円	11	11社 26.2%
1075円	1	
1080円	9	1072~1100円以下
1082円	1	34社 81.0%
1089円	1	
1100円	11	平均額 1110円
1110円	1	
1130円~	7	
合計	42	

2023年1月調査  
資料出所: 日野労連

◇

国民春闘共闘委員会は5月25日に全国一律最賃署名提出集会を開催し、20万3453筆を与野党議員に提出しました。務台議員(自民)、伊波議員(沖縄の風)、大石議員(れいわ)、末松議員(立憲)、宮本議員(共産)が紹介議員として参加しました。

務台議員は日本の最賃加重平均961円、韓国(全国一律990円)を下回っている現状に触れ、この状況を放置すれば日本社会の将来にも影響を与え、全国一律最賃制度の必要性を強調し参加者を激励しました。

### 有給休暇も知らず最賃で10年余

## 労働組合できて1072円が1290円に

最低賃金の全国一律制度への改正と1500円以上の最低賃金実現を求めて、5月25日に新宿ア

### 労災休業4日以上 過去20年で最多

## コロナ5類変更で労災隠しの懸念

新型コロナ感染症への、り患によるものを含めた労働災害による死者数は791人(前年比76人減)、休業4日以上の死者数は28万8344人(前年比13万8426人増)になったと5月23日、厚生省(令和4年度の労働災害発生状況)が公表しました。コロナ流行当初は発症原因が職場・業務起因するものか判断がつかず労災認定や申請が進まなかった経緯がありました。さらに大きな壁となったのが、労働保険徴収法の「メリット制度」です。メリット制度は、事業者の労働災害防止努力の促進を目的として、保険料率や保険料率を±40%の範囲で上下させるものです。政府は労働団体や使用者側の意向を汲み、2022年1月31日にコロナ感染に隠してもメ

リット対象外の「業務災害」として取り扱うとし、これによって被災労働者の迅速な救済につながりました。全労連は4月17日に「医療・介護従事者等の新型コロナ感染による労災給付について、労災保険料のメリット制算定から除外の継続を求める」

以上、最低賃金実現を求めて、5月25日に新宿ア

ルタ東口前で集会しサウンドデモを実施。主催者の小畑さん(国民春闘代表幹事)は、「最賃引上げは男女賃金格差解消、ジェンダー平等実現の大きな一歩。物価高騰で500円以上の実現は待ったなしの課題。みんな力を合わせて実現させよう。」と強調しました。また、新宿区労連で昨年10月に組合結成したスパーみらるる労組菊池委員長がマイクを握り、「有給休暇も知らず、10年以

上も最低賃金で働いていた。組合に出会い初めての春闘で時給218円増、1290円を実現させた。同じような境遇の労働者がたくさんいる。一人で出来ないことも労働組合なら出来る。組合って素晴らしい。」と最賃で働く労働者の実態と労働組合への加入を訴えました。

行進では、コールにたった青年が「電気も食料品も値上げ、消費税増税や社会保険料も値上げ、しかし、賃金は上がらない。なぜだと訴える」と、沿道の若者が「そうだ、そうだよ」と呼応する姿もありました。デモには250人が参加しました。